

愛媛労連

愛媛地方労働組合連合会
 〒790-0003 愛媛県松山市三番町8丁目10-2
 愛媛自治労連会館3F
 Tel 089-945-4526 FAX 089-945-8195
 E-mail: ehimerouren@kind.ocn.ne.jp
 URL http://www.e-soudan.org/



「大幅賃上げ・働きやすい職場・共の役割発揮」 要求をかがげ実現する《2024春闘》を!

「組合員参加の行動、仲間を増やす組織強化拡大」で《要求実現のチカラ》を大きく!

愛媛労連・中央委員会1.27



1月27日、愛媛労連は「第36回中央委員会」が松山市で開催し、中央委員・執行部など45人が参加。「職場・地域から労働者が声を上げ、大幅賃上げ・賃金底上げ、働きやすい職場をつくる」ことをめざす《2024春闘方針》を決定しました。今井議長は開会あいさつで「日本を、賃金が下がり続ける国から賃金が上がる国にするため、今こそ労働組合の出番」と強調。また「能登半島地震への支援」を訴えました。

組の地域を守る取り組み、◎1年間の組合加入者が前年1.4倍など《前進と教訓》を報告。方針提案では《重点要求》として、①大幅賃上げ・賃金底上げ、②労働時間短縮・人員増、③公共の役割を取り戻し、持続可能な地域社会の実現、④軍拡・増税反対、憲法改悪阻止を提起。賃上げ要求では、◎月額3万円以上・時給190円以上、◎定期昇給2%＋ベースアップ8%以上、◎最低賃金は全国一律1500円以上を提起。

愛媛民医労、松山労連、今治労連の8人が発言。コープえひめ労組は「秋闘で3次要求まで掲げストライキを実施し、労組の存在と役割が高まった。春闘では現場の声をより反映した要求づくりで、全職種の賃上げ、定時に帰れる職場をめざす」、全法務は「職場で人員は増えないが仕事はどんどん増える。労働時間管理の適正化と人員増をめざす」、西予市職労は「市立病院・介護施設の民営化方針発表から1年が経過する。野村病院無床化の提案もあり、医療スタッフの退職も増え、民営化前に医療崩壊が起きかねない状況。全県のみなさんの支援を」、今治労連は「能登半島地震の支援・募金活動に今治タオルの活用を」など発言しました。

烏谷事務局長は活動経過で、◎コープえひめ労組・単協労連・県医労連など民間労組の要求活動での奮闘、◎西予市職労・松山市職労など公務労

討論では、JMITU通信産業本部四国支部、コープえひめ労組新居浜分会、県国公全法務松山支部、自治労連県本部、自治労連西予市職労、県医労連

2024春闘スタート!新春宣伝&旗びらき

新春宣伝1.9、旗びらき集会1.12



1月9日早朝、愛媛労連と国民春闘愛媛共闘会議は県庁前で「労働組合でがんばれば賃上げができる」とよびかけ、「要求アンケート」を配布して新春宣伝を実施。今井愛媛労連議長らが「物価上昇を上回る賃上げを勝ち取る春闘にしよう。人口流出を防ぐためにも、全国一律の最賃制確立と時給1500円以上を」など訴えました。

への備えが求められているが、西予市の市立病院・介護施設の民営化方針は、地域の医療介護への行政の責任放棄で許されない」「春闘で物価上昇に見合う大幅賃上げ、全国一律最低賃金制度確立をめざそう」など開会あいさつ。伊方原発をとめる会の須藤事務局長、共産党県委員会の片岡国政対策委員長が来賓あいさつ。4年振りに会食形式とし、桃太郎旗組み立て競争、クロスワードパズル早解き競争などで交流。県民大運動の倉田副議長が「国民主人公の政治に切り替えよう」と閉会あいさつし団結ガンバロウを三唱しました。

1月12日夕方には「新春合同旗びらき集会」を松山市で開催し70人が参加。今井集会実行委員長は「能登半島地震があり、愛媛は南海トラフ地震

労働相談センター12.12、ホットライン1.12

増加する労働相談に対応できる態勢を



12月22日、愛媛労連労働相談センターは「定期総会」を開催しました。過去1年の相談件数が83件に増加（前年64件）し、「未組織労働者の最初の相談窓口となるようセンターの存在を“もっと見える形”にすることが求められている」などと話し合いました。烏谷事務局長が「相談内容はハラスメ

ント・いじめが最も多い。相談から2人が組合加入した」など報告。参加した相談員から「職場のハラスメントが深刻になっている」「相談員の層をもっと厚くしよう」など積極的な意見がありました。1月12日には「全国いっせい労働相談ホットライン」を実施しました。

物価高騰に見合う最賃、全国一律最賃制度を

12月12日、愛媛労連は「物価上昇に見合う最低賃金再改定」を求め愛媛労働局に要請。50団体の署名を提出し、今井議長が「10月の愛媛県最賃改定は過去最高となったが、物価高騰に追いついていない」として再改定を訴え、労働局賃金室長は「状況は理解している。要請は審議会に伝える」と答えました。12月21・25日には「全国一律の最低賃金制度の法改正への賛同」を求めて愛媛選出

の国会議員（永江孝子・山本順三参議院議員、塩崎彰久・白石洋一・井原巧衆議院議員）事務所を訪問し要請懇談しました。白石議員（写真）は「要請の趣旨にはすべて賛同できる。最賃引き上げにともなう中小企業の負担軽減のため社会保険料減免を立憲民主党の公約にしている」など、永江議員は「私も全国統一の最賃を掲げているので、思いは一致する」など応じました。

最賃改善・労働局要請&国会議員要請



建交労県本部・定期大会11.19

労災職業病の根絶！仲間を増やそう



11月19日、建交労愛媛県本部は東温市で「第25回定期大会」を開催し38人が参加。昨年の大会から1年間に亡くなった仲間たちの冥福を祈って黙とうをささげた後、中川委員長が「昨年2月に提訴したトンネルじん肺根絶第7陣訴訟は、8月2日に松山地裁で原告8人全員の和解を勝ち取ることができた。引き続き『あやまれ・つぐなえ・なくせじん肺』のスローガンのもと頑張っていきます」などあいさつ。運動方針案では、◎労働条件など要求実現に全力で取り組む、◎じん肺・アスベストなど労災職業病根絶、トンネルじん肺基金の創設に全力をあげる、◎くらしと平和を守る国民的課題の闘争強化、◎秋と春の組織拡大月間を中心に100人以上の加入で500人県本部確立をめざすなどが提案され、賛成多数で可決されました。

県公務員共闘・定期総会12.6

誇りをもって働ける職場・人員増を



12月6日、愛媛県公務員共闘会議（県教組・県国公・自治労連県本部）の「定期総会」に21人が参加。加藤議長が「つながりを大事にし、組合役員も次へつなぐバトンタッチを真剣に考えていきたい」など開会あいさつ。国民春闘愛媛共闘会議の今井議長が「公務員削減のなか松山市が現業職員を正規募集した。ふれあい収集開始など労組の奮闘でこの成果を作り出した。私たちのたたかいと職場のとりくみで公共を取り戻そう」など来賓あいさつ。春闘期から県人勧期の署名提出・要請行動など活動報告し、安心して職務に専念できる労働条件確立、自信と誇りをもって働ける行政・要員体制の確立、憲法を守り暮らしに活かす公務労働者としてのとりくみなど方針提案。討論の後、すべての議案を採択し、新役員を選出しました。

自治労連県本部・組織集会1.13

職場で仲間を増やす組織強化拡大を



1月13日、自治労連県本部は「組織集会」を開催し、春の組織拡大期間で、①新規採用職員の加入、②再任用・非正規を含め未加入者への加入よびかけ、③組織の強化拡大こそ要求実現の最大の保障とすることをめざし意見交換。討論では、「組織強化のために、いろんな人に役員を担ってもらおう工夫が必要」「青年部やいろんな形で若いうちから組合に関わってもらいたい」「青年部を活性化させるためにサポートし、予算もかけていく必要がある」「新採職員には入庁後早い時期に組合説明会・歓迎会で声かけし、役員が組合の説明をきちんとして加入してもらっている」「先輩と一緒に組合説明会に来てもらい、頼れる先輩から加入を呼びかけてもらうことが加入の近道」「青年部活動を活発にし、青年部から組合加入を呼びかけるようになってもらいたい」など意見がありました。14日には、公務公共職場での要求実現・組織拡大について協議しました。



市が責任を持って地域の医療介護を

西予市で地域宣伝行動1.28

1月28日、西予市で「市立病院などを守る会」の地域宣伝行動に愛媛労連も協力をよびかけ、地域住民の方々と労組組合員など30人が参加し、小雨が混じる中で約3千枚のビラを各戸配布しました。市中心部から離れると、20～30世帯が固まっている集落や一軒一軒は離れている地域が多く、また

住宅にたどり着いて空き家もあるなど、なかなか苦労した配布行動となりました。ビラでは「市民病院・野村病院・つくし苑は西予市が責任を持って運営を！」と訴え、地域の医療・介護態勢を守り、住み続けられる地域とするために「みんなで声をあげましょう！」とよびかけました。

クロスワードパズル

おたのしみプレゼントつき

1	2	3	4	5
6				
		7		8
	9			10
11			12	
13			14	

カギを解き、2重枠に入る文字を並べ替えてできる言葉は何でしょう。

【タテのカギ】 ①悲劇に終わる恋 ②日暮れから間もない頃 ③かすかに射す光 ④—・徳育・体育 ⑤養蚕用のエサ集め作業 ⑥雷の原因となる雲 ⑦鬼ヶ島へ鬼— ⑧〇〇も人なり我も人なり ⑨〇〇の時間に息抜き

【ヨコのカギ】 ①孤島に—した ②—を浴びせられた気分 ③あくどいこと。—な手段 ④〇〇をくくる ⑤〇〇ありげな笑い ⑥品質—を促進する ⑦店の〇〇で支払いをする ⑧—で板を削る

【送り先】 愛媛労連「クイズ係」宛て FAX 089-945-8195
Eメール ehimerouren@kind.ocn.ne.jp

【※切】 3月末日消印有効

【第327号正解】 マツタケヤクイイカオリ

【当選者（敬称略）】 岡本文英（伊予市職労）/貝崎美都志（松山市職労）/横山友紀（全労働愛媛支部）

お便り

読者からの

▼組合活動が盛んになって、次世代育成につながっていいなと思います。（岡本文英・伊予市職労）▼来年の春に定着希望地への移動となる予定です。愛媛での日々も残りわずかとなりました。すでに若干さみしい気持ちになりますが（笑）毎日を大切に過ごしていきたいと思えます。（横山友紀・全労働愛媛支部）▼賃金が上がったけれど、物価はそれ以上の上昇率で、生活に余裕がないと感じます。（田村愛子・全労働愛媛支部）

労働相談

【相談事例】 2000年6月、フルリモートワークの条件でエージェントを通じ、大手のIT上場企業に情報技術職として正社員で入社。これまで、していたA社の仕事は昨年10月に終了した。会社には、フルリモートでの仕事を要望しているが、「仕事がない」との理由で、11月から保障給を貰いスタンバイ状態になっている。その後、会社から90日ルールがあるので、止めて欲しいとの連絡があった。現在、73日目になっているので、このままいくと保険料や子どもの保育料も払えず、困っている。過去には、入社1年目に疲労骨折があり、労災申請をしよう求めたが、労災申請はしてもらえず健康保険で対応した。会社には、労働組合がある。（女性、正社員、IT関連）

【アドバイス】 退職勧奨などがあっても退職の意思表示は絶対しないこと。既存の労働組合に「90日ルール」の内容について、説明を受けること。組合に対応してもらえず、辞めるような方向になった場合には、連絡を下さい。

【応募要項と景品】 ハガキに答えと住所・氏名、組合名、愛媛労連に対する意見、職場のことなど一言を書いてください。ファクス・Eメールでも可。正解者の中から抽選で3人の方に図書カードを進呈します。一言は趣旨を変えずに記載させていただくことがあります。

0120-378-060 月～金曜日（祝日除く）14:00-18:00

労働相談センターは、労働者の「かけこみ寺」として相談者に問題解決のアドバイスをしています。